

【科目名】臨床総合実習		【担当教員】佐藤厚、阿志賀大和、藤間、高橋圭三、大平、倉智、伊林 (メールアドレス) a.satou@nur.ac.jp (オフィスアワー)平日木曜以外							
【授業区分】専門分野（臨床実習）		【授業コード】 5-32-1250-0-1							
【開講時期】4年次 前期		【選択必修】必修							
【単位数】8		【コマ数】160							
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <ol style="list-style-type: none"> この科目を履修するには、それまでの必修科目すべてを修得していること。 学外実習を実施するには、学外実習前の実習前試験に合格すること。 <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習施設へ行く前に、身だしなみを整えること。 不適切な身だしなみと判断された学生については実習を認めないことがある。 実習終了後は、症例報告会を行うので、必要な要約及び発表スライド等の準備を行うこと。 実習中に事故・事件その他問題が起きた場合は、直ぐに実習先のスタッフ及び本学へ連絡すること。 									
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)臨床総合実習は3年までの卒業にかかわるすべての単位を修得した後に実施される。それまでに学んだ基本的知識と技術を応用し、臨床実習指導者の指導のもとに患者を介して言語聴覚療法評価・治療を体験する。患者を適切に評価、統合的に解釈、問題を把握し、その問に応じた言語聴覚療法プログラムを設定し、実践する。さらに、再評価を行うことによって治療効果を検討する。また、実習の過程で言語聴覚士の社会的役割とチームワークの重要性、理論的・法的責任を理解し、言語聴覚療法実施上の総合的な能力を高める。</p> <p>(方法)臨床総合実習は4年次に8週間行う。学内でも実習前試験や症例報告会を行う。</p>									
<p>【一般教育目標(GIO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚士として、適切な評価を行い障害像を的確に捉える。 言語聴覚士として、適切な治療計画を立案し、的確に治療を行える。 <p>【行動目標(SBO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者に対し適切な評価方法を選択し、適切な評価を行い、患者の障害像を的確に捉える。 患者に対し適切な治療計画の立案と治療を行う。 									
【教科書・リザーブドブック】 実習の手引き									
【参考書】 実習先に応じて指導する。									
<p>【評価に関わる情報】(評価の基準・方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 臨床総合実習中の学外実習成績と学内での成績(実習前試験、実習後の提出書類、症例報告会の内容など)を総合的に判断し成績判定を行う。 									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		10	5		25	60			100点
評	10	5		5	20			40	

平成 26～28 年度入学者用

価 指 標				10	20			30	
				10				10	
					20			20	
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)		時 間 (分)			
1	オリエンテーション 評価実習での注意事項、学習内容、提出書類、事故防止・感 染対策等、実習前試験								
1 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、初期評価	1 週目							
2 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、初期評価、結果のまとめ・報告	2 週目							
3 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、他部門情報収集、訓練プログラム立 案、訓練	3 週目							
4 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、訓練	4 週目							
5 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、訓練	5 週目							
6 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、訓練、再評価	6 週目							
7 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、訓練、再評価、症例報告書作成	7 週目							
8 週目	臨床総合実習 言語聴覚療法の見学、症例報告書作成、最終発表、総括	8 週目							
3	症例報告会								

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。